

小5

社会

むずかしい

こたえ

なまえ _____

国土の自然災害

_____ がつ _____ にち

問題を よく 読んで 答えましょう。

めやす 15分

2まい あります

1 言葉を書こう

20点

- ① うめ立て地などで、地しんの ゆれに よって 地面が 水のように やわらか 5点
くなる ことを **液状化** と いいます。
- ② 火山の ふん火で、高温の ガスや 火山ばいが、山の しゃ面を 速い 速さで 5点
流れ下る ことを **火さい流** と いいます。 「火砕流」でも ○
- ③ 大きな 地しんの あとに、しばらく 続けて 起こる 地しんを **余しん** と 5点
いいます。 「余震」でも ○
- ④ 火山の ふん火で、地下で だろだろに とけた 岩石が 流れ出た ものを 5点
よう岩 と いいます。 「溶岩」でも ○

2 えらぼう

30点

- ⑤ 9月1日の「防災の日」は、1923年の その日に 起きた 10点
(**関東大しんさい**・東日本大しんさい) に ちなんでいます。
- ⑥ 雪害への そなえを えらびましょう。 **ア** 10点
ア 道路ぞいに 防雪さくを立てる イ 海ぞいに つ波ひなんタワーを 建てる
ウ 火山の 近くに ひなん用の シェルターを作る
- ⑦ 火山の 地下の 熱を 利用した 発電を 10点
(**地熱発電**・水力発電・火力発電) と いいます。



小5

社会

むずかしい

こたえ

なまえ _____

国土の自然災害 2まいめ

3 表を読もう

⑧ 5と6が2つに分かれる

30点

しんどと人の感じ方(気象ちょうの説明から一部)

しんど	人の感じ方
3	屋内の人のほとんどがゆれを感じる
4	ほとんどの人がおどろく
5弱	大半の人が物につかまりたいと感じる
5強	物につかまらなないと歩きにくい
6弱	立っていることがむずかしい
6強・7	立ってられず、はわないと動けない

- ⑧ しんどは0から7までありますが、5と6は「弱」と「強」に分かれるので、全部で 階級です。 10点
- ⑨ 「物につかまりたい」と感じる人が大半になるのは、しんど からです。 10点
- ⑩ しんどについて、正しいものをえらびましょう。 10点
- ア 同じ地しんでも、場所によってちがう
イ 同じ地しんなら、どこでも同じ ウ 大きいほど、必ずつ波が来る

4 考えて書こう

20点

- ⑪ しんど6強以上のゆれでは、立ってられません。家の中で前もってできるそなえを1つと、そのわけを書きましょう。 20点

(例)家具をかべに固定しておく。大きなゆれで家具がたおれて、けがを
したりにげ道をふさいだりしないようにするため。

そなえ(家具の固定・ねる所に物を置かないなど)で10点、わけで10点

じかん

ふん

てん

/ 100てん

